

## 価格転嫁率37.2% コスト増に追いつかぬ地方経済の苦境

### ～ 『4割』の壁に阻まれる中小・零細企業の限界～

2025年の物価高騰を背景とした倒産は全国で949件に達し、過去最多を更新しました。原材料、人件費、エネルギー価格の三重苦が企業を襲う中、帝国データバンク鳥取支店が実施した最新の調査(2026年2月)により、県内企業の厳しい現状が浮き彫りとなりました。

#### 1. 価格転嫁の現状: 進まぬコスト反映

調査結果によると、コスト上昇分を販売価格やサービス料金にどの程度反映できているかを示す「価格転嫁率」は、平均で37.2%にとどまりました。これは、100円のコスト増に対し、わずか37円程度しか回収できていないことを意味します。

前回の2025年7月調査(36.9%)からはわずか0.3ポイントの改善にとどまっており、依然として「4割」の水準を下回る状態で頭打ちとなっています。企業が自助努力だけでコストを吸収することには、すでに限界が来ていると言わざるを得ません。

#### 2. 格差が鮮明に: 規模が小さいほど困難な交渉

今回の調査で顕著になったのは、企業規模による「格差」です。大企業では100%の企業が一定の価格転嫁を行っているのに対し、中小企業では73.1%に低下します。さらに、価格決定権の弱い小規模零細企業ほど、仕入れ価格の急騰を販売価格に反映できない「低空飛行」が続いています。

業種別に見ても、製造業や卸売業では8割超の企業が転嫁を進めている一方で、サービス業は最下位の25.7%。人件費上昇の影響をダイレクトに受ける業種ほど、価格への反映が難航している実態があります。

#### 3. 展望と課題: 地域経済を守るために

仕入れ価格の上昇分に対し、販売価格の上昇分は38.6ポイントも下回っています。実質的な賃金上昇が物価高に追いつかない中、個人消費の本格的な回復も遅れており、鳥取県内の景況感は予断を許さない状況です。

今後の焦点は、価格決定権の弱い企業や特定の業種がいかに関「適正な価格交渉」を行える環境を整えるかにあります。企業単体の努力を越え、サプライチェーン全体でのコスト負担の最適化、そして消費者の理解を深めるための取り組みが急務です。

#### 【データ・サマリー】

- ・「多少なりとも価格転嫁できている」企業: 75.4%
- ・「全く転嫁できていない」企業: 15.8%  
(全国平均の10.9%より大幅に高い)
- ・業種別転嫁率: 製造業(82.4%)が最高、サービス業(25.7%)が最低。



# 会計検査



『公共工事と会計検査』の改訂8版より「会計検査こぼれ話」をご紹介します。  
一息ついて読んでいただければ幸いです(^-^)/

著者の市川 啓次郎(いちかわ けいじろう)氏は昭和19年生まれ。  
元会計検査院 国土交通総括検査室長を務められていました。

## 会計検査こぼれ話：火葬場の焼却炉が？

平成の大合併もようやく一段落したようだが、小さな自治体では業務の多様化に職員が十分対応できないのではないかと懸念がどうしても残ってしまう。社会福祉や公共事業、どんな事業をとってみても、こう制度が複雑化してくると、それぞれの分野での専門家がいなくては、なかなか業務が円滑にすすまないおそれもある。小さな村役場であっても、大都市とほとんど同じ種類の業務をこなさなければならないのだから、少ない職員の苦勞も多く、他と同様のレベルを維持するのは大変なことである。

さて、ある小さな町での交付金事業の実地検査での話である。その日の検査対象に火葬場の新設工事があった。現地に行くと焼却炉が5基並んでいた。私ももちろん火葬場の専門家ではないが、現場検査の基本は、まず施設が機能しているかどうかの確認である。裏に回り一つずつバーナーの銘板を確認していったところ、何故か一つだけ消費カロリーの値が他より小さい規格表示のものがあった。しかし、この違いがどういう意味なのか、私も町の担当者もそこにいた誰もがわからない。そこで、(電車でも数時間かかるという)設備業者に聞いておくよう指示して次の現場へ移った。

翌朝、朝一番で説明があった。銘板の異なっていたバーナーは、何と、各炉から発生する煙を煙突の上の方でまとめて再焼却するためのバーナーで、それと取り違えて付けてしまっていたとのことである。耳を疑ったが、燃焼カロリーの大きさに関係なく、バーナーの外観はまったく同じユニット構造のものであったので、気付かなかったとのことである。



実はこの火葬場、既にそのしばらく前から稼働していたのである。そこで実際のオペレーターに、不都合はなかったのか尋ねてみたところ、「裏窓から焼け具合を確認しているので問題はなかった」との珍回答が得られた。そして、遠くでこう囁く声が耳に入った。

「そういえば、少し時間がかかっていたような気がするなあ」いくら専門外とはいえ、煮ても焼いても食えない話である。(A)



レオ

ちゃんの製品紹介コーナー



## かんたん側溝（落ち蓋タイプ）

こんにちは！

ライオン通信のレオちゃんです♪



今月は、U字側溝『かんたん側溝（落ち蓋タイプ）』のご紹介です。

これまで鳥取県内の多くの現場に納入してきました。水路幅B250～B500まで取り揃えていますので、現場にあった規格をお選びいただけます。

今月は、近年の納品した現場の施工事例と横断用についてご紹介します。

是非ご検討ください^^



## 特長

- 製品の開口部が納品時に上を向いているため、反転不要で施工が容易です。
- 蓋版はズレ止め機能が付いているので、磨耗・角欠けを防止します。
- 蓋版上部はアート模様（小水路）により、すべり止め・排水機能を備えています。
- 蓋版中央部に連続スリット（面排水）を設け、集水性・排水性を高めました。
- 蓋版は高齢者・身障者・視覚障害者などに配慮したバリアフリーデザインです。
- 側面が等厚タイプもご用意しており、従来のU型側溝のような張り出しがないため、転圧が容易に出来ます。（横断用は等厚タイプが標準です。）
- T-25荷重に対応しています。
- 底版コンクリートを調整することで道路勾配に関係なく水路勾配が自由に付けられます。
- 底版調整コンクリートの施工が簡単です。
- 水路勾配を付ける必要がない場合、底版開口のないタイプを利用できます。
- 製品同士の接続部は連結金具の有無が選べます。
- 側壁に排水ドレン孔を配置することで、排水性舗装用側溝としても使用可能です。



<本体>

<蓋版>



アート模様



施工中



# 施工事例



B300用

▲鳥取市/(浸水)第53工区下水道工事



横断用との接続部

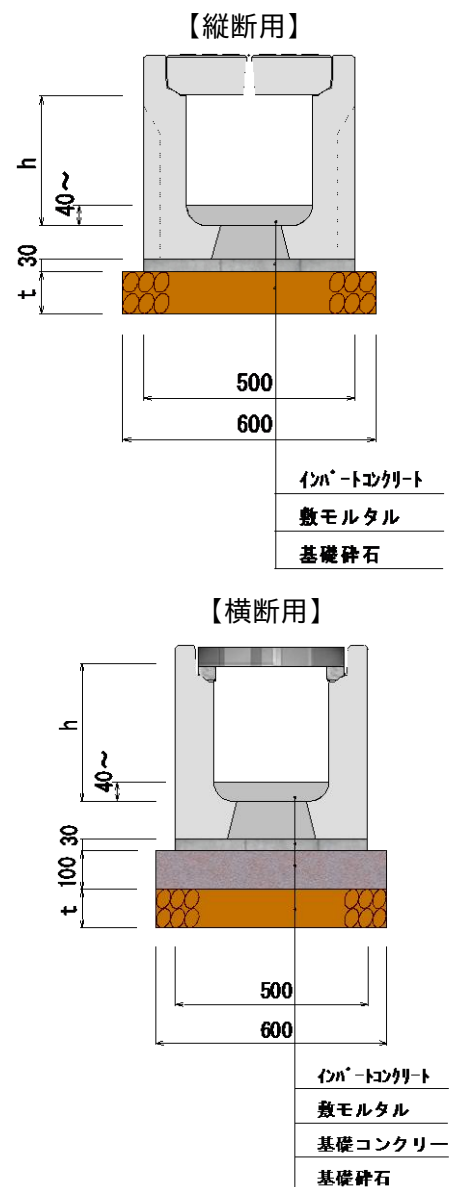
コンクリート蓋はフラットなので、幅員が狭い道路でも道路幅を有効に活用できます！

▼倉吉市/令和4年度市道和田東町井手畑線側溝改良工事



B500用

## 標準基礎構造図



※横断用として利用する区間には、基礎コンクリートを打設して下さい。

交差点部分には、横断用の製品を使用します。横断用は2種類取り揃えていますので、現場にあった製品をご使用いただけます！



	車道横断用	乗入横断用
写真		
特長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本体天端部分は、角欠け防止アングル付なので、摩耗に強く、除雪の際にコンクリートの表面が削れることがない</li> <li>• 大型車の横断に強いため、道路の横断部分などに使用可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本体天端部分は、角欠け防止アングルなし</li> <li>• アングルがない分、車道横断に比べて安価</li> <li>• 駐車場の出入り口等、車両の横断が比較的少ない箇所に使用可能</li> </ul>
グレーチング	グレーチングは4点ボルト固定なので跳ね上がりを防ぎ、車や歩行者に優しい設計になっています。普通目・細目をご用意していますので、現場にあった製品をお選びください。	

### ◆ ◆ ◆ 編集後記 ◆ ◆ ◆

初夏の風が心地よく感じられる季節となりました。梅雨入りを前に天候の変化も多く、気温の上がり下がりもある時期ですので、体調管理には十分お気を付けください。日々の業務の中でも、少し立ち止まって季節の移ろいを感じる時間を持てると良いですね。(土田)

